

緑越事業の進捗状況は 早期発注に努力



やまもと ひさ お
山本 久夫 議員

問

令和3年度黒潮町一般会計から令和4年度に繰越された事業が、全体で33事業となっている。繰越した事業については、補助金の確定の遅れや課内のマンパワー不足等それぞれの理由があると思うが、事業内容においては、コロナ対策や住環境整備、生活環境の整備等の事業があり早期発注が求められている。繰越明許費については、継続費や債務負担行為と違い、様々な理由から繰越の処理がされるが、その事務処理において、安易な対応で繰越処理をしているのではないか。会計年度独立の原則から考えても、繰越明許費の対応は慎重にするべきだと考えるが執行部の考えを問う。

答 松本町長

繰越明許費については、33事業の内、30事業に着手しており残事業も本年度内には実施できる見込みとなっている。

地域整備

地区要望への対応は

予算執行はより有効に

全ての事業において現行に執行することが会計年度独立の原則という面から当然そうあるべきものと考えている。全体の進捗管理について、それぞれの部署でしっかりと管理を行い、繰越したもののについては早期に発注していくとの考えの下、今後も進めていきたい。

問

地域整備事業について、現在の進捗状況と要望件数を聞く。
この事業は、ほとんどが地区要望への対応となるもので、地域の環境整備が多くを占める内容と思うが、小規模のもので住民には日々の生活の中で危険を感じたりする上半期も終わろうとしている現在の進捗状況とその要望に対する取り組みを聞く。

答 松本町長

地域整備事業については、本年度の現段階での予定事業では、35件あり概算事業費で3975万円となっており、予算に対して88・3%となっている。
今後、事業実施の候補として15件の事業を予定している。
これらも優先順位の下に順次発注するとともに今後の事業清算によって残った予算を年度末までに、より有効に執行していく計画である。



潮風を受けて色づくみかん

(令和4年10月18日 熊野浦地区)